

■ 使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■ 使用評価ソフト: CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)コーナンPRO八幡西陣山店	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----	-----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.0 / 5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.9 / 5		ふつう
3 豊かな自然環境の確保	2.0 / 5		がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 / 5		ふつう

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2021年版 使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v.1.)

1 循環型社会への貢献		スコア平均	3.0
リサイクルに関する配慮	長寿命化に関する配慮		
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減 スコア 2.6	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 スコア 3 Q2/ 3 対応性・更新性 スコア 3.4		
<ul style="list-style-type: none"> ・躯体+LGS+PBの内壁とすることで、部材の再利用に配慮している ・耐用年数の長い内装仕上げ材の採用 ・空間のプランニング自由度の高い設計 			
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均	4.0
省エネ・省資源に関する配慮	節水に関する配慮		
LR3/ 1 地球温暖化への配慮 スコア 3.9	LR2/ 1.1 節水 スコア 4		
<ul style="list-style-type: none"> ・建築物に省エネ対策を行いライフサイクルCO2排出率:76%に抑えている。 ・水栓類、便器に節水機能を有するものを採用している 			
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均	2.0
生態系保全に関する配慮	緑化に関する配慮		
Q3/ 1 生物環境の保全と創出 スコア 1	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 スコア 2 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善 スコア 3		
<ul style="list-style-type: none"> 特になし ・見付面積比を少なく抑え、隣棟間隔を確保することにより風下地域への風通し及び熱的影響を軽減している。 			
4 高齢社会への対応		スコア平均	3.0
バリアフリーに関する配慮	主な指標		
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画 スコア 3	建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級 0.8		
<ul style="list-style-type: none"> 特になし 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅:BEI値、住宅: - 0.7 外構緑化指数 0 % 建物緑化指数 0 % 			

: 入力欄

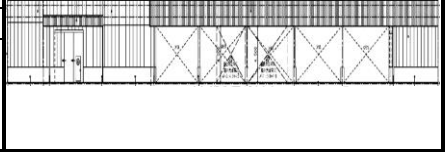
: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コーナンPRO八幡西陣山店	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市八幡西陣山一丁目39-10-1部、39-2、八幡東区地蔵土丁目2029-9	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	406人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,771時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2022年5月6日
敷地面積	3,974㎡	作成者	福岡 真澄
建築面積	2,190㎡	確認日	2022年5月9日
延床面積	2,190㎡	確認者	福岡 真澄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・積極的な省エネルギー対策がされた物販店舗とする。	特になし	
Q1 室内環境 ・建築材料及び接着剤は全てF☆☆☆☆とし、非喫煙者が煙に曝されないよう建物内禁煙としている。	Q2 サービス性能 ・ゆとりある断面計画(階高: 5.4m、天井高: 4.5m)に加え、柱スパンも自由な空間が構築しやすいように設計している。(壁長さ比率: 0.11) ・維持管理のしやすいよう内外装材等について配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー ・建物外皮の熱負荷を抑制している。(BPI _m : 0.80) ・設備システムの高効率化も積極的に行っている。(BEI _m : 0.70)	LR2 資源・マテリアル ・節水器具や節水型便器を採用し水資源に配慮している。 ・分別が可能なLGS下地を採用し、部材の再利用についても配慮している。 ・断熱材には発泡剤ではなく鉱物繊維系のグラスウールを採用している。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率が参照値に対し76%としている。 ・給湯器には電気温水器を採用し、大気汚染防止に配慮している。 ・見付面積を抑え隣棟間隔を大きくすることで風下地域

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
(仮称)コーナンPRO八幡西陣山店

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.5	
Q1 室内環境			0.40		-		2.8		
1 音環境		2.6	0.15	-	-		2.6		
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40	-	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00	-	-				
2 界壁遮音性能	-	-	-	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-				
1.3 吸音	-	1.0	0.20	-	-				
2 温熱環境		2.1	0.35	-	-		2.1		
2.1 室温制御		2.8	0.50	-	-				
1 室温	-	3.0	0.50	-	-				
2 外皮性能	-	2.0	0.17	-	-				
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.33	-	-				
2.2 湿度制御	-	2.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式	-	1.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-		3.0		
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-				
1 昼光率	-	-	-	-	-				
2 方位別開口	-	-	-	-	-				
3 昼光利用設備	-	3.0	1.00	-	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御	-	-	-	-	-				
3.3 照度	-	-	-	-	-				
3.4 照明制御	-	3.0	0.50	-	-				
4 空気質環境		3.9	0.25	-	-		3.9		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	建築材料及び接着剤は全てF☆☆☆☆	4.0	1.00	-	-				
4.2 換気		3.0	0.30	-	-				
1 換気量	-	3.0	0.50	-	-				
2 自然換気性能	-	-	-	-	-				
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	-	-				
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-				
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	1.00	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.1		
1 機能性		3.0	0.40	-	-		3.0		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応	-	3.0	1.00	-	-				
3 バリアフリー計画	-	-	-	-	-				
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	屋内売場天井高4.500m	5.0	0.33	-	-				
2 リフレッシュスペース	-	2.0	0.33	-	-				
3 内装計画	-	1.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	床材を統一させ維持管理のしやすい床面とし、ホコリの溜まりにくい設計としている。外部に露出する部材には溶融亜鉛メッキ処理を施す。段差のない外構。トイレの小便器には壁掛式を採用。	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-		2.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート、壁:ビニルクロス貼、天井:化粧PB	5.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-				
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-				
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備	-	2.0	0.20	-	-				

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高:3.9m以上有り	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	設備・空間のプランニングの自由度が高い設計	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.7
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm:0.80 (モデル建物法)	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEIm:0.70 (モデル建物法)	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	水栓類:自動水栓、節水型便器:擬音装置を備えている	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	壁:躯体+LGS+PB(塗装仕上)	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	断熱材:グラスウールを使用(発泡プラスチック系断熱材不採用)	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率:76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		3.4	0.33	-	-	3.4
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器の使用なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

(仮称)コーナンPRO八幡西陣山店

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0	-	1.0	1.0	3.0	3.0	-	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム なし 屋根 0.4 外壁 1.5 床 3.2 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH - 屋光率 0.0% 自然換気有効開口面積率 0.0%
3.1.1 屋光率	執務スペース 0.0㎡/人 病床 0.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡
4.2.2 自然換気性能	コンセント容量 30.0 VA/㎡ 天井高 4.5 m リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	想定耐用年数 25 年
1.1.2 高度情報通信設備対応	想定必要間隔 15 年
1.2.1 広さ感・景観	想定必要間隔 20 年
1.2.2 リフレッシュスペース	想定必要間隔 0 年
2.2.1 躯体材料の耐用年数	階高 5.35 m
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	壁長さ比率 11.0%
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床荷重 - N/m2
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	
3.1.1 階高のゆとり	
3.1.2 空間の形状・自由さ	
3.2 荷重のゆとり	
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 0% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 45% 水平投影面積率 5% 地表面対策面積率 0% 舗装面積率 44%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m 0.80 断熱等性能等級 等級2 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 0.70 住宅 - 太陽光 0.0kW 太陽熱等 0.0kW 蓄電池 0.0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) なし
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 22% 隣棟間隔指標Rw 3.40 地表面対策面積率 0.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積Sb 496㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 81.72 m 基準高さHb 26.3 m 緑地 ㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡